

第 2 回 利根町振興計画審議会 議事要録

会議名	第 2 回 利根町振興計画審議会	
日時	平成 30 年 6 月 25 日（月） 午後 2 時 00 分から午後 3 時 50 分まで	
場所	利根町役場 4-A 会議室	
出席者	委員	本橋会長，伊藤副会長，船川委員，五十嵐委員，花嶋委員，新井委員，石山委員，江口委員，古宇田委員，市川委員，矢口委員，高野委員，高橋委員，中西委員，伊井委員，大蔵委員
	事務局	企画課：飯塚課長，青木課長補佐，永田係長，成島主任 ジャパン総研：山下アドバイザー，竹澤研究員
欠席委員	岡委員	
議題	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 第 5 次利根町総合振興計画 【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 1 次素案）について 4 その他 5 閉会	
配付資料名	資料 1：第 5 次利根町総合振興計画【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 1 次素案） 資料 2：利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版 配布資料 1：日本ウエルネススポーツ大学パンフレット 配布資料 2：大蔵委員の将来像資料	

議 事

1 開会

2 会長あいさつ

（本橋会長あいさつ）

（事務局が，出席 16 名で会議が成立していること，交替による新委員市川委員，矢口委員の紹介，資料確認）

3 協議事項

(1) 第 5 次利根町総合振興計画【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 1 次素案）について

（事務局が「資料 1：第 5 次利根町総合振興計画【第 1 部序論～第 2 部基本構想】（第 1 次素案）」

「資料 2：利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版」により説明）

会長：ご質問をお願いします。

中西委員：人口ピラミッドにおいて、日本では 2050 年に棺桶型ピラミッドになると指摘されているが、利根町では 2010 年になっており、消滅都市と言われ、危機的な状態になっていると考えています。このような中で、今回の計画書を見た時、のんびりと構えているという印象を受けました。人口減少により労働力の不足などの問題も出てくる中、外国人が増えてきている現状も踏まえ、多様性というものを方向性として考え、危機的な状況ということを念頭に置いて作成することが必要と考えています。

市川委員：外国人が増えているので、外国人のことも含めて考える必要があると考えます。

高橋委員：この案は悠長すぎるし、優等生の案で利根町の計画になっていないので、この案では利根町は良くなれないと考えます。

副会長：現状認識が少し違うと感じており、人口問題は大きな問題であるので、人口を基本的なベースとして、現状について共通認識を持つ必要があると考えます。

石山委員：大蔵委員の資料の意見を聞いてから質問したいと考えています。

大蔵委員：住みたくなるまちを今から作るのは遅いので、現状のままで来てくれる人を考える必要があると考えます。（「配布資料 2：大蔵委員の将来像資料」により内容説明）

石山委員：P. 24, まちづくりの基本方針、将来像と基本方針の間に、まちづくりの基本理念を入れると町民にもわかりやすいと考えます。例として、「利根町の良いものを大切に」、「利根町に無いものをつくる」、「協働して進める」などが考えられます。

高橋委員：今回は利根町の現状について意見を出し、次回で町をどうしていくかを話したらよいと考えます。

会長：今回は現状についての共通認識を持つこととします。具体的な意見をお願いします。

船川委員：現状の課題としては、交通と高校以降に若者が出ていくことです。出ていくことを食い止めることと戻ってこれる環境、親元近居ができる環境が必要と考えます。

大蔵委員：戻ってくる環境を作るのはよいが、若い人を引き留めるべきではないと考えるので、若い人は利根町を出て多くを経験し、利根町を好きになった人に住んでもらった方がよいと考えます。

船川委員：利根町が好きだけど居られない理由を緩和して、居られるようにするという考えであり、無理やり引き留めるという考えではありません。戻ってこれる環境を作るということです。

大蔵委員：戻ってこれる環境は、必要と考えています。

副会長：居たくても居られない事情は何ですか。

船川委員：職業的事情や家庭的な事情など、個々によって違ってきます。

副会長：利根町には企業がないので、職業的な事情への対応は難しいと考えます。

船川委員：団地の方は、以前はマイホームを作り、満員電車で東京まで通勤していたが、若者はそこまではやらないと考えます。個々の事情により差異もあります。

副会長：多様性を踏まえて考えていく必要があると考えます。現在いる人を引き留める、戻ってきてもらう、その他に外国人を含め外から入ってくる人を受け入れるなど、多様性に対応する環境づくりが必要と考えます。

高野委員：移住者を増やすためにしていたのでは時間がかかるので、今あるものでファンになってもらい、住んでもらうようにするのがよいと考えています。

利根町の問題点は、子育て経験のある人ならば共通してわかっているが、それをつぶしていくのでは時間がかかり過ぎるので、今あるもので早く進めるために、大蔵委員のおもしろい町というのはよいと考えます。

副会長：町外の人にアピールできるポイントは何ですか。

高野委員：中高年が大木や桜を見に来たりしているので、これに歴史的なもの、体験的なものを

組み合わせればよいと考えます。

大蔵委員：桜まつりは、休耕田に菜の花などを植え、花と組み合わせるとよいと考えます。

高野委員：休耕田に違った花を植え、季節ごとに違った花が見れるようにするとインスタ映えからもよいと考えます。

大蔵委員：インスタ映えを考えるのであれば、強いチャンネルを持っている人を使うか、発信してくれる人をもてなす体制づくりも必要と考えます。

新井委員：今日の会議で、素案の内容、将来像、愛称を決めるのか、課題を検討するのか、決めて進めた方がよいと考えます。

会長：基本構想の基本方針等の方向性を議論してから、その後課題を検討するというところでよろしいですか。

新井委員：60年住んでいるが、ほとんど変わっていないと感じます。過疎化は、団地が急造され、人が出ていき、進んだのであって、少子高齢化が進む中、利根町をこんなまちにしたいという具体的な将来像にした方がよいと考えます。

高橋委員：栄橋の渋滞などの交通の便が過疎化を進めたと考えています。過去利根町は、広域の道路について何もしていないので、計画に広域道路についても記載する必要があると考えます。

花嶋委員：広域道路については計画はあったが、先代たちが承認しなかったという経緯があります。

新井委員：基本構想を先にするのではないですか。

会長：将来像、素案の3案と大蔵委員の案の4案について、ご意見をお願いします。

船川委員：将来像は、利根町をどんなまちにしていけるのかが見えてくるものがよいと考えます。

古宇田委員：快適とうるおいはどこでも使っているのでやめた方がよく、おもしろいはあまり聞いたことがないのでよいかと考えます。基本方針は、もう少し強弱をつけた方がよいと考えます。利根町の人口減少は異常と考えており、高齢者が増えることもあり、健康、元気というのはサブテーマとして必要であり、ウエルネススポーツ大学は大きな存在になると考えます。

高野委員：ウエルネススポーツ大学との連携は密にする必要があると考えます。

P. 27、農業等、農業従事者の減少や高齢化を考えると、農業を産業の中心とすることから外して、基盤整備などは選別しながら進める必要があると考えます。

伊井委員：利根町では、地産地消を打ち出しているが、これは内向きであるので、町長が東京にお米をアピールしに行っているように、地産他消であれば、今後農業も発展すると考えます。

大蔵委員：健康・元気は大切だと思うが、そうでない人もいるので、将来像ではなく、基本方針にあればよいと考えます。

高橋委員：「ともに創ろう おもしろい町」がよいと考えます。

大蔵委員：変なまち、変わったところを目指さないといけなと考え、おもしろい町としています。

新井委員：北海道の東川町で「教育のまち」としたところ、6千人人口が増えたケースもあり、「英語のまち利根」のような大胆な文言の方がよいと考え、「ともに創ろう おもしろい町」がよいと考えます。

高野委員：将来像は、将来目指す姿であるので「ともに創ろう」は手段になるので、合わないのではないかと考えま。

高橋委員：他にないものは、桜、ウエルネススポーツ大学、芸術大学などで、スポーツ、芸術・文化などをアピールするとよいと考えます。

伊井委員：おもしろくやっていたらおもしろい町になると思うので、おもしろく入っていくためのアイデアを出せばよいと考えます。

江口委員：おもしろいは多様性があるということと考えれば、町は活性化していくと考えます。

伊井委員：多様性があれば、切り替えができ、柔軟性がとりやすいと考えます。

中西委員：多様性はキーワードとなっており、異質の文化をぶつけ合うおもしろさであると考えます。

会長：本会議では、将来像を「ともに創ろう おもしろい町」でよろしいですか。次回までに現状認識については考えて来ていただくということでよろしいですか。

大蔵委員：このペースで間に合いますか。

事務局：結論は急がなくてもよく、方向性が見えればよいので、今後協議していく中で、検討していけばよいと考えます。ペースは間に合わせるしかありません。今回の計画では、第4次との違いを出し、特徴あるものに変えたいと考えていたので、協議内容は良かったと思いますが、最上位計画なので色々な分野が入ってくるので検討しながら進めることになります。

事務局：今回の意見は、盛り込んだ方がよいか、箇条書き程度よいか、どちらがよろしいですか。

委員：箇条書き程度でよいと考えます。

事務局：次回審議会の開催は予定よりも早くなりますのでよろしくお願いします。

4 その他

(事務局より報酬の手続きの連絡)

5 閉会

以上